



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和5年1月31日(火) 発行 第9号

『看却下』

校長 田代 雅規

禅寺の玄関に入ると「看脚下」(かんきゃつか)と書いた木札が掲げてあります。「脚下を看よ」と読むのだそうです。これは、本来的には自己を究明せよ、自己を見失ってはならぬという警告だそうですが、玄関の場合は端的に履物をキチンとそろえて脱ぎなさいということのようです。

どんなに忙しいときでも、履物をそろえて脱ぐぐらいの心のゆとりをもちなさいという意味で書いてあるようです。心にゆとりができると自分の姿が見えてきますし、落ち着いた生活ができるということのようです。

禅の教えに「看脚下」という言葉があります。昔、中国に法演(ほうえん)という禅僧がいました。そのお坊さんが、ある晩、3人の弟子を連れて寺に帰る時のことです。暗い夜道ですから明かりを灯さねば帰れません。その時、一陣の風が吹いてきて、その灯が吹き消され真っ暗になってしまいました。一向はそこで立ちすくみます。その時、法演が三人の弟子たちに向かって質問をしました。「暗い夜に道を歩く時は明かりが必要だ。その明かりが今消えてしまった。さあお前たち、この暗闇の中をどうするか言いなさい」と。ここで暗闇とは、自分の行く先が真っ暗になったということです。例えば、思いも寄らない災難に遭って、前途暗たんたる場所をどう切り抜けていくかという問いです。そこで弟子たちが、それぞれ自分の気持ちを言葉に出して述べました。まず、仏鑑(ぶっかん)という弟子は、「すべてが黒一色のこの暗闇は、逆にいえば、美しい赤い鳥が夕焼けの真っ赤な大空に舞っているようなものだ」と答えました。しかし、この答えに師匠は納得しませんでした。次に仏眼という弟子が、「真っ暗の中で、この曲がりくねった道は、まるで真っ黒な大蛇が横たわっているようなものです」と答えました。この答えも師匠は、許しませんでした。

そして最後に、圓悟克勤(えんごこくごん)という弟子が、「看脚下」と答えました。つまり、「真っ暗で危ないから、つまずかないように足元をよく見て歩きましょう」と答えたのです。この言葉が師匠の心にかない「そこだ、その通り」と絶賛したということです。

暗い夜道で突然明かりが消えたならば、まず今ここでなすべきことは何か。それは他の余計なことは考えずに、つまずかないように足元をよく見て、気を付けて行くということなのです。もう一歩進めて解釈をすると、自分自身をよく見なさいということなのです。

暗闇に灯火を失ったような人生の悲劇に遭遇したとき、多くの方は右往左往して、自分を見失いがちなものですが、正しい道は近きにあり、自分自身に向かって求めよというのが「看脚下」の意味です。「灯台下暗し」で、人はとかく自分のことは見えないが、他人のことはよく見えるものです。だから、他人の批判はできても自分の批判はできないと言われる。他の人と比べるよりもさきに、まず自己を見つめなくてはならない。そのことを教えるのが「看脚下」です。

他人と比べるのは仕方がないことです。高校入試が始まりましたが、結果を他の人と比較して、喜んだり、悔しがったりすることはあるかもしれませんが、でも大切なことは、まず自分の脚下を見ることなのではないでしょうか。思うような結果がでなくても、他の人と比べるのではなく、自分がこれから何をしなければならぬかを考え実行することです。

ロウソクの火は風が吹いたら消えてしまいますが、心の中の火は風では消えません。今週は、都立の推薦受検の発表もあります。中野中の3年生には、「看脚下」によって心に灯火を掲げ、自分の脚下をしっかりと見て、これから先の自分の道を歩んでほしいと思います。



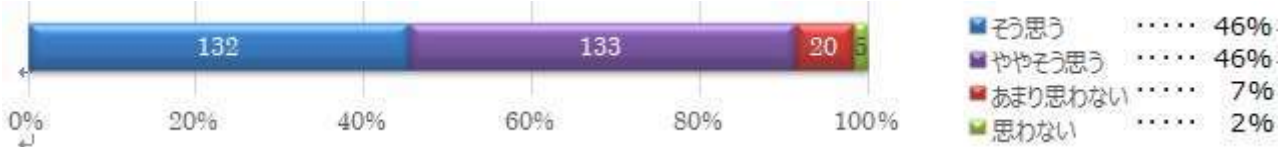
■保護者アンケートの集計結果について

今年度は、306件（回答率90%）もの回答をいただきました。12月の大変お忙しい中、アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。

アンケートの各設問についての評価をご報告いたします。



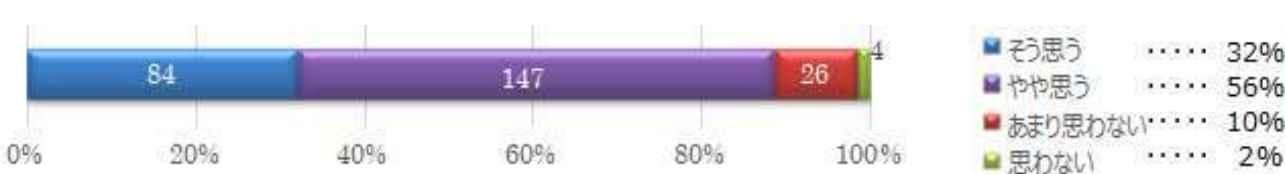
設問1：お子様は、充実した学校生活を送っている。



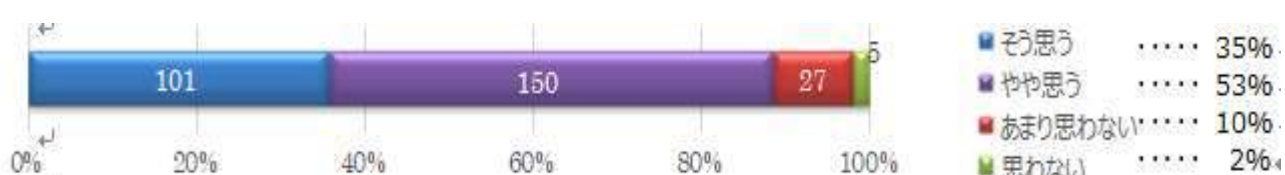
設問2：学校は、デイリィライフの活用、全校朝読書、人権週間、食欲体力向上週間等の実施など、特色ある教育活動を推進している。



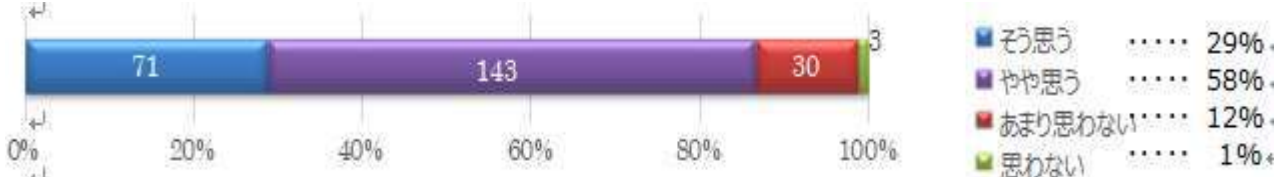
設問3：学校は、一人ひとりの生徒の良さや可能性を伸ばす教育活動を行っている。



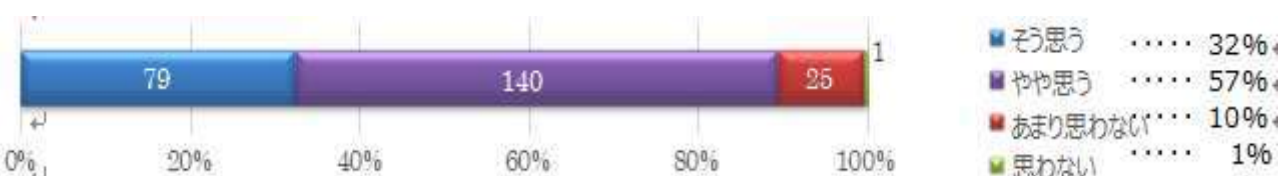
設問4：学校は、少人数指導、学習規律の指導、補充教室の実施、タブレット端末の活用を行い、基礎・基本を身に付けさせている。



設問5：学校は、授業目標の提示やまとめ、ICT活用等を行い、生徒の関心や意欲を引き出す工夫をしている。



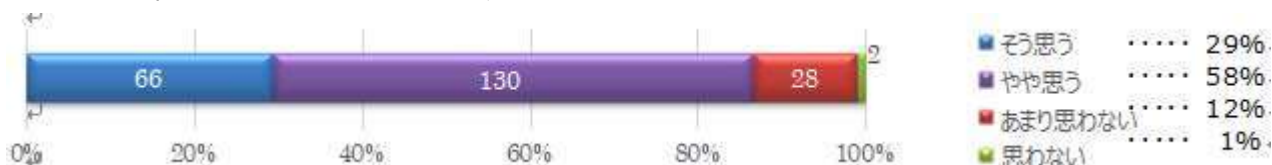
設問6：学校は、総合的な学習や人権・税の作文等の発表を通して、生徒に人とかかわったり自分の考えを伝えたりする力を育てている。



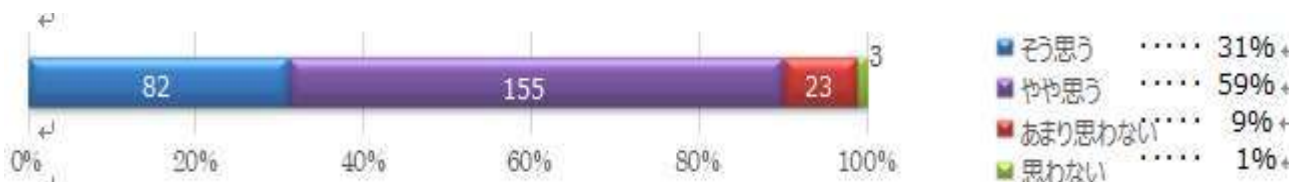
設問7：学校は、体力向上週間、給食残食調査、食育講演会、保健だより等で健康づくり体力づくりを進めている。



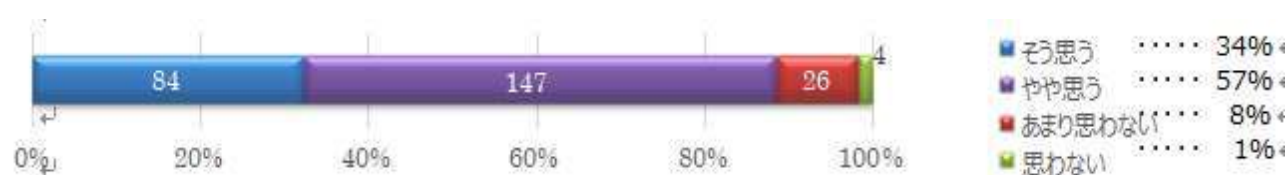
設問 8 : 学校は環境問題にかかわる教育活動を行っている。



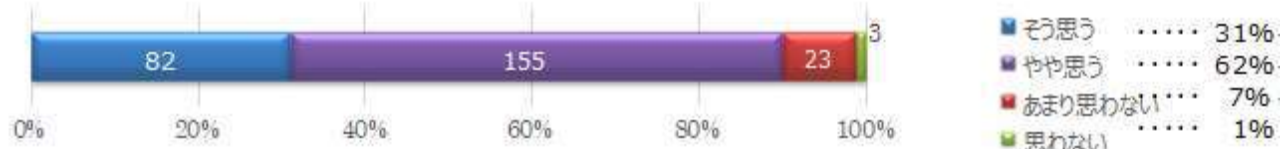
設問 9 : 学校は、思いやりや優しい心を育てている。



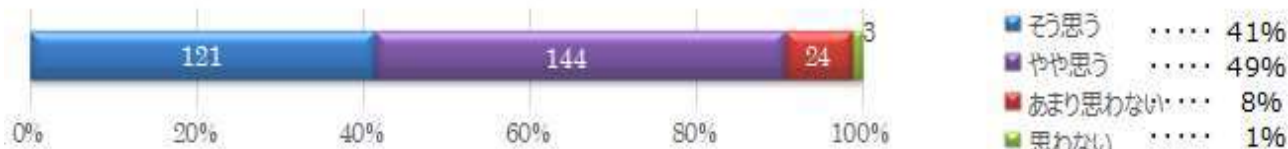
設問 10 : 学校は、生徒の自他の生命を大切にする態度を育てている。



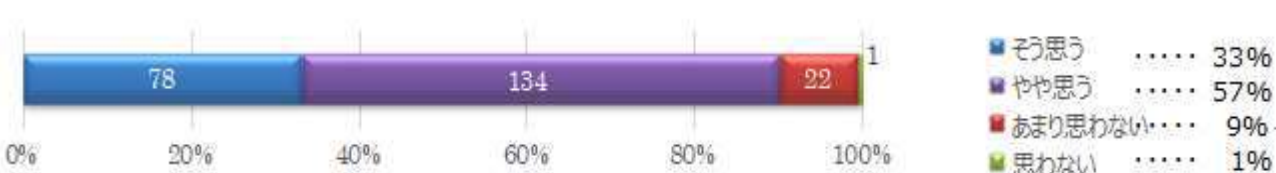
設問 11 : 学校は、全校集会（オンライン）や学年集会、道徳授業等を通して、生徒に規範意識を向上させ、社会のルールを守る態度を育てている。



設問 12 : 学校は、保護者会、学校説明会、学校だより、ホームページ等を通して、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。



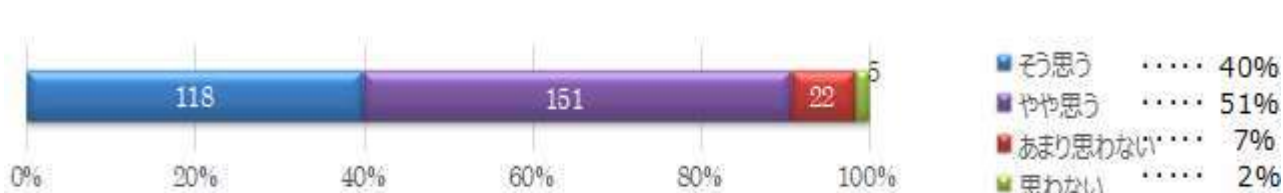
設問 13 : 学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。



設問 14 : 学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。



設問 15 : 学校は、学校公開等の機会や学校だより、ホームページ、学校メール等で、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。



設問 16：学校は、三者面談、電話連絡、カウンセラーや心の教室相談員の活用、いじめや体罰アンケートを通して子どもや保護者の悩みや相談に応じている。



設問 17：学校は、避難訓練や安全指導、SNS 教室（セーフティ教室）、救命講習（3月）等を実施し、子どもの安全を守る取り組みを行っている。



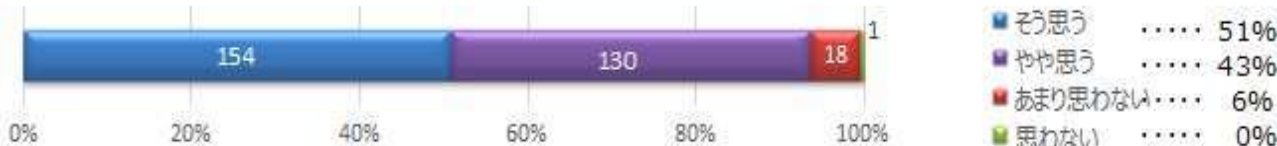
設問 18：学校は、時間厳守、環境整備、挨拶等の指導や各種教育活動に熱意をもって指導している。



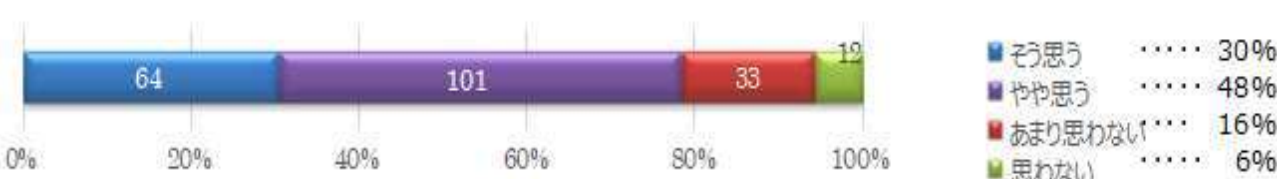
設問 19：教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。



設問 20：学校は、学校だより、学年だより、各種通信、通知表、三者面談等を通して、一人ひとり生徒の学習状況や生徒の様子をわかりやすく伝えている。



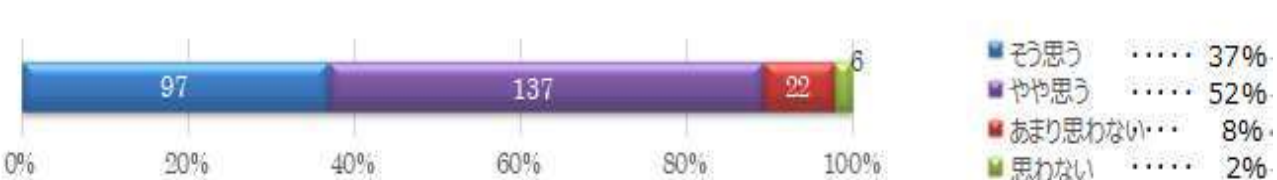
設問 21：学校は、特別支援教育や発達障がい等に関して、保護者への説明を行っている。



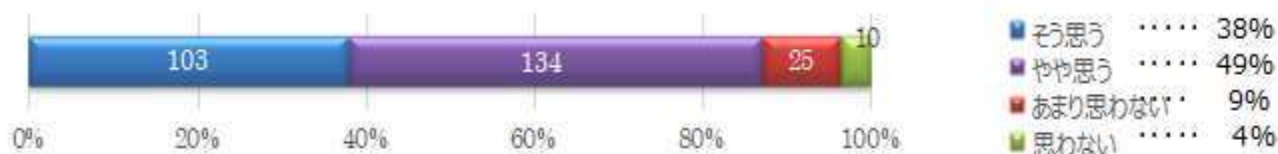
設問 22：学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。



設問 23：学校は、高校の先生の話や聞き会、生き方発見プログラム、職業調べ、働く人の話を聞く会等を実施し、生徒に将来に向けての生き方を考えさせ、進路指導を行っている。



設問 24：学校は、複数顧問や外部指導員の活用、部活動保護者会等を実施し、部活動の充実に努めている。



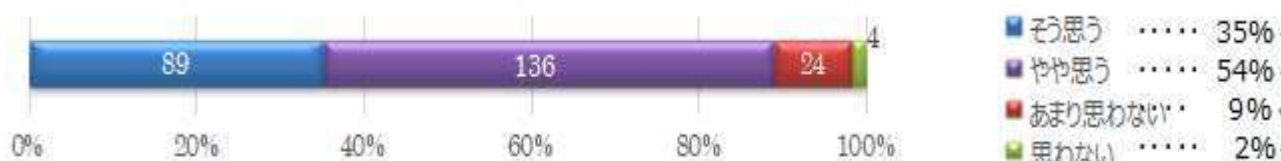
設問 25：学校は土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。



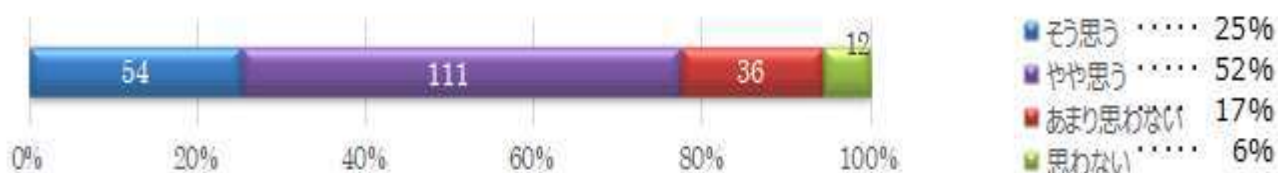
設問 26：学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導を通して、生徒に中学生になった自覚をもたせたり、自己有用感を高めている。



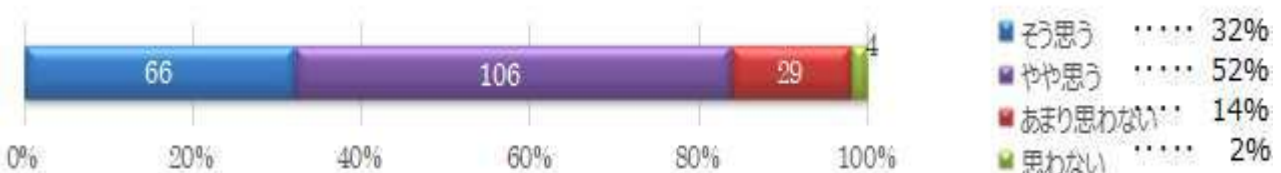
設問 27：学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導を通して、授業改善に努め、生徒の学力向上、体力向上、心の教育の充実に努めている。



設問 28：学校は、保幼小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。



設問 29：学校は、幼稚園・保育園・小学校との接続や連携を大切にした教育を視点に授業改善に努めている。



上記のアンケート項目は、令和3年度と共通のアンケートで実施していますので、令和3年度と令和4年度の各項目に対する評価を比較しました。

昨年より、評価が上がった項目は、19項目でした。評価の下がった項目は1項目でした。

令和5年度は、この結果をもとに今年度以上に保護者の皆様に評価していただけるように全教員で努力していきます。

■令和3年度・4年度の比較

	主な質問内容	令和3年	令和4年	増減
1	お子様は、充実した学校生活を送っている。	90%	92%	△2%
2	学校は、特色ある教育活動を推進している。	92%	95%	△3%
3	学校は、一人ひとりの生徒の良さや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	84%	88%	△4%
4	学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	89%	88%	▼1%
5	学校は、生徒のの関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている。	84%	87%	△3%
6	学校は、生徒に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。	87%	89%	△2%
7	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	94%	96%	△3%
8	学校は、環境問題にかかわる指導をしている。	87%	87%	※
9	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	87%	90%	△3%
10	学校は、生徒に自他の生命を大切にする態度を育てている。	89%	91%	△2%
11	学校は、生徒に社会のルールを守る態度を育てている。	91%	93%	△2%
12	学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。	90%	90%	※
13	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	84%	90%	△6%
14	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	89%	89%	※
15	学校は、学校公開等の機会や学校だより、ホームページなどで学校の様子を地域や保護者に伝えている。	89%	91%	△2%
16	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	93%	93%	※
17	学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。	93%	93%	※
18	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	91%	94%	△3%
19	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	98%	100%	△2%
20	学校は、一人ひとりの生徒の学習成果や生活の様子を分かりやすく伝えている。	94%	94%	※
21	学校は、特別支援教育や発達障がい等に関して、保護者への説明を行っている。	76%	78%	△2%
22	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	96%	99%	△3%
23	学校は、生徒に将来に向けての生き方を考えさせ、計画的な進路指導を行っている。	89%	89%	※
24	学校は、部活動が充実するように努めている。	85%	87%	△2%
25	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。	92%	94%	△2%
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、生徒に中学生になった自覚や自己有用感を高めている。	89%	93%	△4%
27	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、学力向上、体力向上等を図っている。	89%	89%	※
28	学校は、保幼小中連携教育のねらいや様子を保護者に分かりやすく伝えている。	73%	77%	△4%
29	学校は、幼稚園・保育園・小学校との接続や連携を大事にした教育をして授業改善に努めている。	78%	84%	△6%

■ アンケートの結果について

保護者アンケートの結果から、全ての項目（毎年中野区共通 29 項目）で肯定的な評価が 90% 以上の項目は、17 項目でした。

特に高く評価していただいた項目は、以下の項目でした。

設問 19：教職員は、来校時や電話等の際には、親切・丁寧に対応している。	100%
設問 22：学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	99%
設問 7：学校は、健康づくり、体力づくりに努めている。	96%
設問 2：学校は、特色ある教育活動を推進している。	95%

設問 19 は、今年度も新型コロナウイルス関係の相談や友人関係、SNS の相談等、保護者の方から電話や相談も多数ありました。電話での対応においては、保護者の方にご心配をおかけしないように、教職員一体となって丁寧に対応してきたことを高く評価していただきました。

また、設問 22 の学校施設については、今年度開校 10 周年を迎え、保護者の方や地域の方々、中野駅周辺の企業の方から、たくさんのご支援をいただきました。今まで倉庫になっていた多目的室を整備し、自習室をつくったり、中庭に樹木を植えて、ベンチを設置し開放したり、学校の東側に桜を植樹したりして、環境整備をすることができました。校内美化についても美化委員会を中心に清掃活動や落ち葉掃きボランティア等に積極的に取り組んできたことを評価していただいたと思います。

設問 2 は、学校の特色ある教育活動についてです。今年度は、運動会で生徒の考案したオリジナル種目を取り入れて実施したり、運営も生徒のボランティアで行ったり、生徒の自主的な活動を推進してきました。開校 10 周年記念式典でも、吹奏楽部の演奏や K-POP ダンス、ブレイクダンス、会場の装飾等もすべて立候補した生徒たちにやってもらいました。その他にも 11 月の「芋掘りボランティア」、「東北復興祭」、「合唱コンクールの有志合唱」等への参加もすべて生徒の自主性を尊重してきました。

中野中の生徒たちは、常に新しいことに意欲的に挑戦してくれました。失敗を恐れずに、勇気をもって挑戦する、この気持ちを育てるために次年度も各行事では、先生方が一方的に決めたことを実行するのではなく、生徒と一緒に考えながら教育活動を進めていきます。

学校で一番大切な、項目は授業に関する以下の項目です。

	主な質問内容	令和3年	令和4年	増減
4	学校は、生徒に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	89%	88%	▼1%
5	学校は、生徒のの関心や学習意欲を引き出す授業の工夫をしている。	84%	87%	△3%

学校としては、生徒の興味や関心を高めるために電子黒板やデジタル教科書、iPad を活用した授業に積極的に取り組んできました。Quizlet や Kahoot を授業に取り入れ、研究授業も計画的に実施し、教員の授業力の向上に努めてきました。授業改善に向けた方法については、10 月にホームページに授業改善プログラムとして提示しました。次年度もより良い授業を実施できるように学校全体で授業改善に取り組んでいきます。次年度も年間 8 回、学校公開を計画していますので授業を参観していただき、その感想をアンケートなどに書いていただくと助かります。

課題のあった項目は、以下の設問についてです。

設問 28：学校は、保幼小中連携教育のねらいや様子を保護者に伝えている。	77%
設問 21：学校は、特別支援教育や発達障がいに関して保護者の説明を行っている。	78%

中野中は特別支援教室の拠点校でもあります。4 月の保護者会では、特別支援教室の担当より、特別支援教育のあり方や指導の進め方等について説明していますが、改めて説明の方法を考え丁寧に説明していきます。また、保幼小中連携教育についても、中学校と保育園や幼稚園との連携について今まで以上に学校だよりやホームページを活用して情報配信していきます。

■アンケートの主な個別意見について（内容一部略）

<1年生>

○成績が出た後に各教科の先生と個別に相談する機会をつくってほしい。

■面談の時に担任に相談してください。希望する場合にはその機会を作ります。

○部活動や専門委員会、ボランティア活動等、多様な体験があり子どもが日々成長できてありがたい。デイリーの活用なども子どもにあった教育が実施されている。今年は、軽井沢、スポーツ大会、合唱コンクール等が実施できて恵まれた1年だった。

○iPadを活用してほしい。特にタイピングやプログラミング教育を学べるようにしてほしい。

■タブレットの活用は、小学校から始まっているので小学校とも連携します。

○コロナ禍でいろいろな制限のある中で、できる限り普段通りの教育を続けようと努力している学校の姿に感謝しています。

○小学校と違い、子どもからプリントが渡らないので、困っています。

■現在も保護者会の参加申し込み等 QR コードでも申し込みにしましたが、次年度は、SumaMachi での学校だよりや学年だより等の配信も検討します。



○公立学校には、様々なお子さんがいて、学校での話を聞くと、時には大変なこともあるようですが、その分様々な考え方があることを学び、人間力がつくと思っています。

○部活動の試合が応援に行けるようになり、とても嬉しいです。試合中にマスクをしているのが気になります。

■部活動だけでなく、体育の授業や運動会等でも学校でははずすように指導しています。

○再登校は、遠い生徒は学校内に待機させてほしいです。 ■今年度は待機させています。

<2年生>

○通知表の評価の仕方について、透明性をもって文書で説明していただきたいです。

■4月の保護者会で説明してありますが、説明方法について次年度は検討します。

○人間関係がうまくいかなかったり、もめることがあったり、困った状態になることもありました。その都度先生方が対応していただき、学校での様子もいつも知らせていただき、感謝しております。担任の先生には細かい心配りをいただき、大変感謝しています。

<3年生>

○コロナ禍でイレギュラーな日常ですが、先生方のお陰で充実した中学校生活を送れています。担任の先生の指導もよく、とても感謝しています。

○家のスマートフォンも制限しているので、学校の iPad も使用制限をしたほうが良いのでは。

■iPad の家庭での使用制限については、次年度検討します。

○テスト前に生徒をやる気にさせるような工夫をしてほしい。ワークを何回もやって自信をつけさせる等 ■生徒をやる気にさせるような授業改善に取り組んでいきます。

○定期テスト前に実力テストがあり、対策が十分にできずに困りました。

■今年度は、面談で結果を利用するため、実力テストが定期テストの1週間前でした。実力テストの実施時期については、次年度できるだけ定期テストと間を開けるようにします。

○自習室の設置は、本当に良かったです。喜んでいました。

○副教材として提供される宿題の量が多いのが気になります。

■副教材の選定については、次年度さらに丁寧に行っていきます。

○7月にあった合同進路相談会がとても有用で良かったです。10周年式典も良かったです。